1-

俳諧吉日条叙

[illegible]の子ども[illegible]ハ[illegible]
乃自[illegible]拵[illegible]
[illegible]
[illegible]

出句地名

豊前 中津 豊后 別府 岡 植田 崔崎 松岡 三佐 原浦
萩原 湛水 胡广蔓 賀来 臼杵 佐伯 肥前 唐津 洞ノ上
松浦 筑後 大村 雲州 広瀬 母里 伯州 米子
三崎 作州 勝山 新庄 長州 竈ノ関 室積
播州 姫路 河内 富田林 大井 大和 高取 竹ノ内
摂列 高槻 尼ケ崎 備中 新見

以右十三筒國三十四處

出句あるも地名の枠外の歌書等を著したる俳諧の歌書等を除く

一序

一之巻 秀逸

釣くる水すら秋羅文
一日乃ものも白足木槿哉 豊后別府 桃洞 六々
思ふこと葉 伯州米子 亜草
やはれる鶏を去ると秋の川 古楽
釣糸乃さくも刀と打てそ 別府 可秀
世の中といふを捨乃ちまか舟 豊后佐伯 寫月
三身の風うそ寒ら 別府 赫々
秋の川なとなる筆うな 雲州母里 々々
くふそ又くふ乃木槿のもとれ 曠
くる身のちに咲よ秋乃雫 佐伯 恒雄

さゝほとりの牡丹を
梅見よと宮ひろふ哥多
數人乃名かけ小松なみ
ひとゝの小つゝ漳子ひとへ哥
毛氈敷て宿ろふ鴨乃夕小
ふるさとを宮ふる鳥
夕立や指ゝりまる乃身
笹葉ゝ家乃見えてを鳴の江
一方よ露ひとふさを乃浦葡萄
指ろゝ五を哉ふ簿うな

米子 五葉
別寺 周禾
河内富田林 燕之
豊後宇目 帰白
米子 亜来
可秀
恒雄
亜来
栄枝
佐伯 其一

秋乃夜のかゝ〳〵ふるは〳〵ふるな
朝日の昼〳〵ひ〳〵ほゝえ小
松柏を見ゝるゝ〳〵宮秋の雨

佐伯 周禾
米子 倭風
佐伯秋圃改 月帆

二三丁ゆ〳〵ゆかゝ〳〵露ゝ〳〵
笠ふる麦乃おそ咲ゝ〳〵

東芦
指目

見ゝとゝや宮末ふゝ〳〵ゝ
白ふの〳〵菊の〳〵せる〳〵

竹童

水凪て鳴の壱羽の石ゝ〳〵

可秀

見かへりゝゝの静ゝ〳〵帰ゝ巣

周禾

ふ泣ひ兔ふ歯の根も合ゝなゝ

備中新見 佐伯 桃秀
三世

亜来
豊後 萩原 巨川
三佐 同 入樵
廣瀬 蘭々
羅文
指月
滄巴
秋川 高訳 林糸
周永
寫月

雲州 竹内 其雪
倭風
季子 浪文
亜草
五葉
別府 蘭々
佐伯 錦江
都雪
雲州 廣瀬 恒雄
玉水

山もの夕日を拾ふ杉葉哉　サイキ　三顧

名ろ大やきのこ露冷ゝ　恒雄

雨の雫をまつ露ろ　白木樗　ハナタ　其仙

茅おれとゝみ虫ろゝろ　タカトリ　林糸

まろ人の木立めろ庵の冬　ろン　燕之

きり紅のこゝろ変ふかれろ　滄巴

美しいと詩をおへゝきの雨　モリ　冬曠

身こゝろの未練の数ろ　命麻　里月

黄鳥ろ狗まのそゝ山家小　サイキ　芦舟

山ゝ川等ゝ　清水賣　ツルサキ　不及

日の雪て伏家ろ冬ゝ哉　冬曠

西ろ墓もゝし　混盤そゝ　栄枝

娃子や源れ女ろ尾のひれろ　仝

松風ろ吹こゝろ　松壽ろる　和州竹内　可久連房

名ろ子や若ろれろ種　竹毋　豊後

白雲や柳ろ景を　三顧

阿ふろ水おおそろ一雲ろ峰　冬曠

手立おおてかゝもむしの鳴　萩原　歩月

鶯お家ろ人ふ共をろ二月小　芝雪　佐伯

押合て人のゝ門柳　桃秀

芥　葱　四月の園　飛来

冬曠

青　芦舟　鴈月

海　全

雨や　鴈　三十　亀方

梅　芦舟

笑　全

庁　恒雄

澤潟や　其一

全

雪　紅葉　三世

古樂

語更

恒雄

不及

竹房

排秋

倭風

鴈月

古樂

雨

稲つるとうちうそぶく　ハキハウ起風

秋雨のこゝろぶしてや撞ゝ鴫　其一

昼うつゝ乃黄鳥さそふ竹中　ヨナヌ艸稿

暁を身ちかに　おもひかけ里　義

舟ばたゝ〳〵首かゝ浦のおもかげ　林糸

紫陽花のちゝやをみさきまでも　豊后岡嵩二

ひやしこゝろさ出る山の雲　亀方

秋の夜ともあるを先ぬる　三世

乃雲の水ふ夜あけ　河岡　桃秀

炎天や黒ふもなく　燕之

若鮎やの字うたゝ　別有狙竟

汗ばんで水おもとく秋のゆく　別有狙竟

汗ばんで水おもとく秋のゆく　別有狙竟

切風の葉ふ盤うつ里松　モリ冬澤

和ふもし渕の二見か南　倭風

夕ふのたゝ花こゝ書あつて　艸稿

こゝ秋の門ふ柴こゝおとゝふ　ヨナヌ五葉

こゝしふ年のこゝこゝ哉　別有可秀

鶏の鳴て一こゝ書　錦江

雨の夜乃汗ふつゝこゝ　スイキ鯊暁

若鮎やの字うたゝ雪　都雪

雲ゝ鳥　鳴ゝゝ山　ゝゝ長　古樂
二人ゝゝ指首ひり　枯野ゝ　亜草（ヨナユ）
図画のゝゝ　毎ゝ　盆ゝ　恒雄（ナイキ）
毎の矢ゝ波を　流ゝゝ　亀方
落ゝ松子　法ゝ　寫月
丁ゝゝ　日のゝ　以貫（豊后原浦）
思ひゝを　梅ゝ　五葉
風の吹ゝ　烏ゝ那　錦江
待　音やゝ　ゝ名張ゝ　月草（ナイキ）
軸　ゝ庆の　鼻ゝ　指月

秋の雲　斤東指ゝ　羅文
今ゝゝて　ゝ松　五葉（糸子）
ゝゝ　ゝゝ　亀方（三佐）
有ゝて　ゝゝ　亜州（糸子）
深ゝゝ　ゝ　錦江（別有）
和雲や　先人　ゝ　亀派（佐伯）
酪翁の　ゝゝ　三世（新見）
種の　ゝ　燕之（冨田林）
蜀魂　本賃の　羅文
きのふ　ゝと　亜州

名の戸や姫拙于て秋の風　竹母
そゝしさを人のかくよう書出ようく　茅子　倭風
青鷺や白く歙たなきあめくやう　佐伯　其一
その須ハ悼あ〳〵そゝ市よりの山　肥前松浦　峨々
そゝの山まちくしふ日の雪てゆく　豊後植田　湖外
ゐるや思ひ出してゐるく引　羅文
十身の菊折しうふあり　豊前中津　吐眉
八朔や人狂篤朱田を廻る　佐伯　恒雄
野の梅乃雫まする性ル　豊後臼杵　南溟
筆案の戸口かまゐ安みる　全

咽ゐるそゝも又古衾　竹母
青梅ゐゝへる酒の通ひル　羅文
春風と五月多む　南溟
古のゝ戸ル書田のゐゝ新ゐゝ　茅子　十雨
栗屋ゐゝ又そゝ霧ちゝあゝしル　ヒロセ　藤蘿
柘屋業世のありさ肉の移り名　別府　赫々
重かゝ原葉のあゝなりて蓼の花　三世
大ちの柱ヨおひゝ　肉る鳥　多カより　林糸
栗梅の下ゐ屋とゐる神馬ル　峨々
盆の帝黄こそゐる雨多一　佐伯　芦舟

雨の日の雫あるものよ　梅の蕊　佐伯　都雪
新しい白さて　鳴る音度の丁　三佐　入蕉
如月やこころの奥の奥のおくのおくの　筑後生葉　四遊
源一さの果さて庭もる　佐伯　虹橋
なれ友ひとりもち秋の雲　湖外
萩ちるきふ仕舞ふくろう　伯州三寿　湖水
悼やのほれてみる赤はら　羅文
引越の未の松山るくお　別府　挑洞
萩の露四五ちるも　肥前唐津　壷疇
谷葉も三枚の青田　豊後賀来　鶴負

ちるくの梅よさくらも古用干　佐伯　写月
りするをいるさして遅さるる　羅文
源一や本新下ありて毛布かな　摂高槻　哥掟
大坂の入口ふ水垣　ヨナコ　亜来
門松や婦人多こ煙草ゆく　入蕉
艶の招かやうなの薫さん　佐伯　月中
等女おるあくれ峯の梅かな　植田　其仙
虫の音や一枚ふまた　三佐　露渕
秋の雲うた世のさ海をかもち　佐伯　一峯
春柚
杜若水の信かくろう　林糸

湖や灯一葉 三顧
初さくら眞晝のいくさ哉 南溟
葉ちりて青湖芒貫く 冬曠
空うつす水や目あらくの垣つゝ 羅文
後あるく〳〵賀書の意を發きけり 飛来
かたへする日ら苔菓となれおろう 南溟
さゝくと乗吹出して秋もよし 龜派
吉丁に汚してもる手燭かな 羅文
面白き杖つゝく菊之助 峨々
抽斗の屋ふさがる萱ぶき 三世

冬ごもの言ふまじき寺有 祇石山 倭風
雪ふりてかゝるなる時、 亜忡 別府桃洞改
葉掛乃折てうへする暗さ汁 伍尺
まふ〳〵て赤き置れし麦乃秋 芦江
八月や初吉ふのひろ家 壺山
秩父嶺ふ望の朱あり 松のゆき 南畝
まのおを思ひ出して寒ふ 湖水
ひさき人なて遇ふやふる 吾樂
倫むをとふ乃ふれく 杜芙 亜来
次ふもまて春の山へるぼふん 南溟

江戸一歩の旅や南子ら　飛来
雉伏て通りてまぢかう芒の巣　里光
せきれいの尾ふるそこよりものよ秋の冷　南溟
きくさ売やひとつ切る門の春　太柏
八朔の当ふしこゝろ　輪ゝな　藤蘿
復さゝ為おもうさゝるの咲てより　桃秀
経おもた今歓の華ふのうるう　竹母
水流や螳よおもうる　京名人
朱ひら織意ゝ　峨々
雪の白ゝもまぢかう　羅文
　亜州

秋雨や笠ゝ多ゝゝを抱ゝ吟　冬色女
青さゝれ尺駒ね人の～ゝ詩ゝ作ゝ　鴉月
ゝゝ系の秋々尺ゝゝ　亀毛
ゝ庵ゝ麻おもうて歯栗おもひる　三顧
稲妻や絵ゝ作ゝ　南畝
さゝゝゝゝ闇のまうゝ飛ゝる　林糸
むゝゝ人をちゝ　五葉
むゝゝ小雨よゝ市枝河岡　伍尺
新宮のゝゝふゝ　峨々
ゝゝゝ柳ゝゝ　芦江

至るまで 秋空の 端と思ふ迄
晴壷の 井 うつも 出て 夏の雲
秋雨や 多くて よろ 蛾々
鳴きしふかを そこ 野白小 ヘツフ可秀
つゆ 牧 女う 竹女
芝の 露 探て 画 ろう サイキ 熸暁
天の 白 ろう モリ 冬沢
井戸堀あと 山 の 哭て 乃至 サヒキ 芦舟
人住 秀 雪の 勢 ニオミ 三世房
夕風ふ ろを ろ 糸瓜う 三顧

羅文

春柚
有てそ又 うる雪を 吹きろう

其一
羅文

偶の 屋 乃ろ——れうな
秋 秋の仁 露 濱の松
秋ろうのろう 狂 夕かも

采子 八千歳

雪ろもろひもの 布 頂角力
ろう代のろ 布 たきけること 粗彦
稲つや 志 布 てち 芒 其一
名 多 や 僅 布 月 露 八千歳
黄ろや 加 ハな ろれ 荏 う 布
仏の雪大 志 ろう 声 ろう 三竿
ろる雪を 吹きろう 飛来

其一
羅文
伍尺
其一
八千歳
其一
三竿
飛来

夕すゐ　伍尺
烏羽玉の　八千歳
橋を　日の長
雪ふりて　垂帷
ふるかみゆきの　竹母
天のかぐやま　冬沢
收の秋の　里光
長閑さや　錦江
打浪も　紫暁
おのづから　壽樂
撞の音ふけて　春暁雨
山もとの　梅ふく風
軸

秋深き　羅文
乃もとを　林糸（タカトリ）
水のながれよ　乃川　土葉（ヨナコ）
秋の雨ふる　袴ふくてふく　鳥（カイキ）　其一
鈴もや　聲も　雨　覧之
早苗時の　鈴ゆるして　五月　別有
三度出て　雲ふきとる　風の余　周禾
燈も　ふるみなれ　秋乃夕　羅文
去行手ゝ　迴りのよい山ふかい　飛来
鳴ふる　松の海生　其仙（高橋種田）
麻植ても　鶏鳴ふるふるな　羅文

岡 嵩二
羅文
冨田林 燕之
田栖
榮枝
ガイキ 綉虎
三ナ 龜方
田栖
冨士丸
ウスキ 南溟

伊与吉田 化笛
古樂
羽カ
眉上
ホイキ 鴎月
豊后宇目 帰白
ヒロセ 藤蘿
周禾
眉上
林糸

清井筒釈けて秋の河岡哉　冨田林　芦江
釣ふねやさるの尾もの狂ふらん　　五葉
宵町を至膚のうへの身拭ふらん　ウハシマ　五橋
苔の集滝のあるじのかもとゝり　ヨナコ　十雨
さめてしと啼てみるまに秋の蝶　豊前中津　吐屑
杜ふかおもひそめけん　雲のうへ　モリ　冬曠
昔さながらあの流れや秋の雲　仔内　其雪
秋の色きとゝろまつ須磨の浦　自暁
さゝ〳〵なみいる夜はたゝあて松の　ケトキ　恒雄改　秋秀
波までおもひおとしけり　　冬色女

波舟の杜の老ゝ蚊やこゝれかもの　宇巾
岑ゝとかゝてもゝ〳〵杜うぐひす　ヨナコ　浪文
下闇ゝまきゝふあやめ葺　棟　別有　伍尺
畑打の昼をゝゝ鶏の後子ゝ　　寫月
ふむ音のみ　芦舟
ゝゝゝゝゝゝのかゞり炉線ゝ　　吐屑
初ゝの糸を繰ゝ二度ゝ　タカツキ　羽力
山さゝゝゝの枝よ干かゝ　　哥挺
人丗ゝ向ける二度の聖山ゝ　　藤蘿

巻首

雨もれてこころもとなきも侘しけれ
冬ごもりよき書をぞ積み置ける
門田うな
梅さくさくら仏の苔もう那
芦舟
玉柳やはなのきぬ着るとあやふう
嵩二
志賀越しそはの山のうつもる雪
サヒキ 月草
篁ふかき雪あらし山のうつもる雪
十雨
あかつきの星うつくしき冬の月
自暁
初うら雁波をきり芦の角
林糸
備前加茂
すこし板人ほのうすやみの
尺城
伸のまま旭の牧やをぞこめ
羽力

六之巻 秀逸

林一さの多しとろ鉄笠の巣
田栃改 露海
山さとや雲の中なるかきほもと
ヨナコ 亜来
雪の丁のつれ福寿草 鏡うな
露海
大勇やこうのさる人乃中
眉上
五位鷺やものあるの川
三顧
工夫して吟ずる琴 柳
ヨナコ 倭風
ともしやおぼろの月 雲ふ、神うら
中津 吐眉
摂待や足を洗はれる白拍子
東芦
精をつ三百つくして秋ぞくれ
冨士尤
初袷おもひのあのおとの
サヒキ 亀派

亀方
自暁
冬色
露海
紫暁
言樂
其一
秋秀
羅文
一芦

カツ山

鶉ちく おやま 臭き 冬の色
山茶の松ちくの茅の梅小
雨ちる 約束も有る 收書る
名鳥の名をきゝて表あり
きのふや馬も吟に 保ひろ
駒迄ひ 勇て大津の月 秋小
秋くや ことろ ろふもの 汚ま
鶏頭や かろふ 複乃雫ゝ 聊
稲ほ子の 裳おかさのそゝ 未

白濱やあらきさゝ波ほろ〳〵
幸崎のおを 降岩ん さ月小
ほたるの 消た日ろる戸口る
ふ二折ある 山路の 窮託 義
平良雨の 待を出しく 名百 身
きもしく 併のめに 寄ろく
多ふの服ろ 生ろ市 生ろ生
初冷ゝをつほるまひ小
舩汁や 出牙ハ 橡手 納る
略すろ乃 お 松ほろ秋点

ニサキ 湖水
一芦
月洲
唐津 几雲
眉上
倭風
飛来
ビセン加茂 好古
サヒキ 虹橋
ヨナラ 五葉

その八 枯の考 択そうな 覗之
押雲そうら菫う歩うう土用干 (シラサキ)蘭什
おもろやりけ事ふ本いさな梅 (ヒメシ)山旭
鴉うことを打はまて乃芒な 露海
大寺の鐘のそうや義本槿 百度
初花や捻遇うきひろあ 其一
本兎小せ手あることを身を鴉 三顧
煤掃て泳多免てある旭ふ 虎掟
人言て斗そ昭い時の川 (モリ)冬曠
精東の体てあうら桝うな (モリ)冬澤

ゆくまや世智かさ(カヒキ)撞うある 冬秀
夕さわや人の息乃そ鴫のう川 羅文
きう風をはれてお時の庵をうま 其仙
老うと先ろうひうう大根引 (フリシ)芦江
うこまて乃れうに鳴蛍川 (ヨナシ)亜草
垣おに柚の実(フシ原浦)以貫
実いうまあふおうる小 全
立秋の仕事ふまうま市ろひ縄 羅文
あうふうさうふ山おこうな (カヒキ)秋秀
庭うの風そ出うう市菌まうみ (フシ雲崎)語交

柳うら善清水の出まふ〻書

河宵やまうれぬまうに泊の汀

蔭をかたむけ山の老うう勝身（イヨ小松）霞耕

山水もえもう〻うう清まう林倭風

五月雨の待を出しうの世も身眉上

力なきれそうろうの砂をうう紫暁

降うううもう寺う閑まう几雲

うう川まふ鳥に秋の雲うう自暁

きうもしに佛のめうに零うう倭風

抽

うき夢を屠うう慨うえ（カの山）里翠

七之巻冬乃逸

三日月を蓼うう弐

二百うう身まも牡うん（唐津）壺轉

雲かれ乃通至をう（豊后松岡）月洲

大うまの偶うう〻まふ（岡）出山

拙柳てをうう羅文

ほの暗き雪う人あるまう因う乙武

和月のまもなう更うう

新雪乃中をえて

まうせの淡い秋うう（ヨナコ）亜来

宿乗う柳く是うう芝雪

飛来

出山

羅文林
亜来
燕之
飛来
乙武
蘭什
其一
桃秀
芦江
亜来

月洲
蛾々
露月
湖外
孤舟
其仙
春秀
八千年
苔舟
冬澤

来ることを鳥なくも秋のものの
世の中乃 雨ふりのこと生海苔小六ノ秋
初松魚詩を出て 寫月
睡井を 歌けし眉のうつくし 亜仲ヨシミ
等も来よくそなりたるかも 一聲サヒキ
謝 杖ふるれてのそく井をかる 林糸タカトリ
出代やあてまね啊ノ里 皐菊防州竈岡
さ一同より掠しくしくる大工多 五葉
久ふ晴てくふ乃雲の合ふ方見かな 全
此雅のこてまるみ乃ろ 拾か亀 其一

一一これ海をみたる筈ふかな タカトリ 圭々
等の戸下 長刀こてくきく乃巣 羅文
空梅の実をこれてこれひろ 別府 伍尺
蛍見乃ぬ手出気法かる 湖外
花の雲うつし 跨て 魚里々 芝雪
松山乃雲うつし 里夏の雲 圭々
新雪之包中神こ鳥うす 篇花
秋空一日の指首 猿井戸 伍尺
秋乃せ野山ふくも 言のある カラリ 乙照
繁俵里夫手の森を新ノ里 コシヲルオキ 戸小

巻首

芝雪評

名ところや さくら咲そめて 垂糸桜の 春の月 巴上

鐘の声 こゝろあるもの 秋深き 防州 室積 十才 従

大きの陽こそ あれて 岡 出山

走る汗 陰のこゝろは 酒中か 飛来

思ひ切 ちとよそえて 猫のこひ ホヒキ 露月

二日矣 あこやさくら 乃咲ゝ 、 亀流

経机や 関のひゝなも 寂乃鴫 大井 南畝

すゝしこゝろを 汚すなり 夏の月 八甲田 可抔

旧引て 咲こゝろぬ 乃 ヒロセ 孤舟

油 濁こゝろ 菖蒲こゝろ 日よ 五葉

鮫ふかの 咲 話こゝろ 埴う 那 在岡ソルサキ 蘭什

掛ゝ 乃 こゝろ ゆ雲 仏 舟 クカトリ 林糸

三百年乃 あれ こゝろ 咲こゝろ リヒキ 紫暁

毎日の 世をあこゝろ ある木種こゝろ ヨナコ 浪文

雪の おも 掌 ゆゝこゝろ 咲こゝろ 別府 東芦

ちゝこゝろ あこゝろ 盆乃 ウラツ 赫々

売ものゝこゝろ 白よ 其流

清流こゝろ 乃 ふ川 ふ 宇巾

八野こゝろ 乃ゝ 白ひ ヒロセ 鈴 な 蘭々

秋の月 桂の はゝこゝろ 乃 ア三賀来 霊負

羅文
峨々（ニッラ）
藤蘿（ヒロセ）
亜艸（ヨナユ）
可秀（別府）
露海
吐雲
冨充
羅文
亜来（ヨナユ）

亜来（ヨナユ）
赫々（別府）
其流（カラッ）
亜艸
八千年（ヨナユ）
芦舟（サヒキ）
紫暁
一夔
化笛
月艸

晩春の雨をのこしてくれるう　冨士丸
かげを浴ふなる　別府　眸　錦江
悔多う降そうれしけりゆ　眉上
煤掃く筆休よき松の影　全
人ごころの匂ひをまとの窓　ヨシ古　倭風
散てうつろう跡の泉哉　全
鐘撞も忙しと杜鵑　サヒキ　芦舟
まことと教旅治う鳥う秋うたう　八千年
雀の宿も捨れを他めう孝　全
十六歳和箏稽古取のう　備前カモ　芳古

まつかぜか村人の上う教ふ哉　サヒキ　三顧
落葉ううううの又ゆうの　カラツ　小夜秋
十月の秋をうふ家柄う　雀負
学ぶ宮もと教ふ哉　東芦
寺う雪よ鉄筆のう　竹母
枯うう芦の髭の　宇巾
雲の峯小四のうう　バキバラ　以貫
夏うう　悪水　年々
瓜ひうあう秋教て流れうう　ヨシコ　八千年
晴うのあう掃ううう　全

富士九評

古樂
古樂
駒石
露海
古樂
月仙
峨々
自暁
梨水
宇市

（サヌキ十カセ）
（バキバシ歩月改）

小夜秋
峨々
五葉
其雪
亀方
亜来
竹母
乙照
三世房
羅文

（カラツ）
（ツラツ）
（ヨナコ）
（竹ノ内）
（二左）
（ヨナコ）
（カラツ）
（新見）

風呂ま
於あ
ま
夕
戸
悔
ま
ま
緞
數
ま

峨々
其一
宇巾
三顧
燕之（スリン）
几雲（カンヅ）
秋秀（オヒキ）
、
古樂
尺城（加民）

ま
蓮
麻
ま
泥
投
茶
ま
ま
秋
二

羅文
三顧
十兩（ヨセ）
、
八千年
南畝（大井）
蘭汁（ンルサキ）
小夜秋
其雪
一聲（サヒキ）
三世房

原浦　以貫
亜来
緒虎
サヒキ　三顧
栄枝
吐雲
周馬
十両
羅文
サヒキ　虹橋

自暁
サヒキ　夏秀
秋秀
作州西川　柯笛
其流
亜来
サヒキ　紫暁
冬魚安
ワサタ　湖外
里光

九五評

奉首

雪の朝杉もあらしもなかりけり　錦江

乙そも志ぐねよ巷のかきほそと　十兩

笠のあを婦一て復ちて　亜来

柳

柳ちるへよ月ハサタ　橋仙

杉やの一枝そよりて　眉上

降る笠に片角よけて帰牛　五葉

相

相ひ楽風のおもしろくなりぬ　橋仙

楫ゝや門を十おのあり日和　可久連房

雨ふりてゝ水影　竹女

加

山ちかき雪よりおれてゆふ栗　乙照

春日の雪もかゝるか木撞ヲ郎　三左　亀方

ちそ一こや帯のうしろの子の言　自暁

秋ふかきかも庭のしくれ　羅文

徐ゝて柳のそよぐ空ゝり　ヨナコ　倭風

連翹ふ易をひわるゝり柱ゝり　ヒロセ　嵐吹

ゝゝゝさを八月の白も志ゝて　カヒラ壷轉改　父山

秋のしも萩ふんて仕舞ゝ栗　羅文

ちゝ栗ふ七能をとぢまりか　芝雪

かゝ一ゝ雪一の雪ふ二月ゝる　倭風

亜来

一聲　松岡
月洲
里光
林糸
亜耒
習山
可秀
一峯
父山
可秀

伍尺
亜耒
覧之

五葉　ヨナコ
十雨
古樂
可秀
亜帆
芦舟
羅文

小夜秋
中津 吐眉
獅々丸
、
壺山
カラウ 其流
羅文
倭風
羅文
伍尺

自暁
冨士丸
十兩
鴉月
倭風
亜艸
芝雪
鴉月
加茂 芳古
羅文

巻首

おろそも秋立そめし炭俵　籬峰評（ナヒキ）　一聲

白梅の香　おちもやらふ名おしき　桃秋

経机の気しるまなこねぶそふ　（ヒロセ）嵐吹

なの如く癖ある時雨勝手　羅文

霞ゆふ久の春　里光

抽出しの仕合見そてそふの月　〃

一そふ秋のうるみそめたる秋　竹母

そされのものなりける釣革ふ　周馬

その梅みのものあらけまおひろう　別府可秀

不器の窓の下かるさか　亜来

抽

町中小店のそあるを飛ふせあ　福来

寄そそふ八室山は乃実ありて　百嬰

住よ一のそ史かそうそ巣か　田栖更霞海

巣あやそ　杜そまおそそし　云巣

苔そ一ふめれ跡速よ寄蘭そな　菴十

時才や落そそ　羅文

霞しもや行能く身乃落所也　芝雪

加山子　種根ふ出あて雪の秋　富先

冬冬ふ初夏乃なれあ一ふ　九瓜

木枯や庵乃字なき板家かな　東也
菊両ノ一端の月　ひとりしも巨燵こゝろ　屋烏

こゝろ初冬の月色の深十吾をおもてきを焼
こゝろほしも又こゝろの一助ちるんや

五竹葊選

蓬莱こゝろ　萩原　乖友
天蓼の赤こゝろかなしくて　梅乃舎　芝雪
衣裁めの札あこゝろ　澤芦
薪まして拵こゝろを丸きかな　化笛
一夏酒こゝろ　飲四

其日葊会

矢鳥こゝろ小松を東こゝろのかな　姫路　芝葉
されこゝろ義さあこゝろ雪かとおこゝろあめ　廣瀬　呼春
引越の落こゝろ雲となりこゝろ　蘭こ
景色の俤こゝろ山さこゝろ　赤強　百瀬丸
　尼　乖人

園のそら秋燈ふかれほそりまし　尼　春程

夕ぐれのものうてまつ花園ぞ哉　五六

時雨るゝや弟子誘ふらん律の笠　呉風

風そよぐ松もまばらて一里来ぬ　淡輝

秋寒くしぐるゝまゝの雲　倭風

そゝしと呂れ世界のもとをする　掲井

黄花菴全

松むし一里鳴てその末を若ぢろ　若狭　車牛

こゝろの軟日をのどかに社なる　豊后　机山

海山のみをうち楽まつれ　越前　仙艸

岡子ろ菴を並平かぶれろ栗　堺　李山

夏まくの軟吹しろうろろ　讃岐　宗徳

みてうまやとなろうの秋も日手伝ろ　ワカサ　時雨雄

業の実ざくろ秋乃ゆふへろな　全　鬼水

外苔の寒ー声き碧あく夕ろ尺　全　斗尺

木伽のこもろ白ろろ　秋雲菴　河内　盞澄

冬のおろせ海苔のまゝもよろろ　備后　蔵六

花屋菴全

夏山のそものゝ吸ろく　軟如ろく　ワカサ　雪丈

おく山ろ寒のそ尺ぞ毛塀　巴龍

志摩
大和　一秋
田子鳥　竹雅
弁ふつ日子　鵠炉
尼
ふだいまでひしうなり　猪系
山伏そ山ふ形ふなり星多秋　芳雀
雀麦や紫ふ如ふ　大和
書天をいふふ味あり　柘屋集　一九
月夜菴全　歌鳥
下露や雀紫ふふふ　卜隣

ふふふ書まふふて梅のも　覓之
毎のや鮫ふ　伊与　幟兄
ふふまふて雨ふ　至江
有的や杜ふふまふ　幟君
汝ふや淀あふまる西雲人　芝多
あしと人も来ふ露のふ　東后
雨のふふ仏ふ汤ふて秋の雨　大和　可亮
農ふの山源を　伯州　倭風
井の梅のさふふ生尾　伊与　其梅

井眉菴全

六曜
流光
悟雪
度淑
一土（ワカサ）
者我
東后
升岳
糸琉（サヌキ）
林糸（ハヤト）

江戸
完来
冥麥
午心
成美
寥松
芥雛
春帆
実疑

作見ともうらも冬の坂　　泰里
世捨ふまでや月を乃有　　尾張　士朗
さゝなきて雪のふりくる時雨哉　　〃
松後きさゝやしそれ乃烏哉　　〃
蓑もるゝうら海氣もうかゞ　　〃
名ものゝうらと松てや水の雲　　乖有
つきくさや野ゝ乃秋の　　〃
ゆく〳〵の春も雨もの香うな　　日底
弱人のうらうすへきうき松な　　梅間
むらめく月よ蛙よ名の滝　　普天

蓬生の秋の大きよほゝおと　　蒼帆
垂絹のさゝうき身ゝうけ〳〵のも　　〃
大ゝもの中てようれ夕さゝ　　尾全
かゝうのうらうて復の白おか　　定稚
めさまの柳ようくさゝうき　　士卵
垣いさめ宿も四月乃草の雨　　梅價
格の栞の言ふ〳〵豪商よう　　雪雄
うんなおそし〳〵ほゝおと　　若夢
志才て海八もうて秋のそれ　　文鵜
烟のゆうらうぐ　　笹鳥

木僊
朱六
三ほ人
木僊
宗渕
菊和
朴六
三ほ人
木僊
朴六

木僊
尺艾
月祐
、
宗渕
、
、
東堤
萬和
、

井眉

三途

木偏

糸ヘン

言偏

エト 木偏

イヨ 糸扁

カハチ 耒耜

サカミ 葛三

ムツ 雄渕

乙酉

矩随

釣名

山へ往こと夕ぐれ目下焼く熟柿ぶ

やうやむやにしてあくる日よりお

延ばせばせまるのしめなわ炭

うす皮やきうすもしてしまう筆屋

猫の恋あふ秋うちすて衣がえ

きそうや弁の客暮れてふ

ろくしふもうちきねもやみぶ

小角力の幣うけにまかり出

弓矢をおのうち投てかちどき

山々のくくもやタちそう
澄きるや 怪るしの乃かもの水
そゝ〳〵の迹一ツもやゝね葭木そな
注ひとまて布とる人の牧さそ哉
秋の秋の秋〳〵おおへて 吟帰物
沸仏るや宝よ
後の月日そ
八月の秋之似る
大のそもや迹
れさのあさ

アキ 玄性
イヨ 静山
アハ 夷柏
ナカサキ 祥未
フシコ 月化
、切磋
、頓丘
、仏水
カヌキ 亮峰
ミヤカ 里翠

俳諧集冊 俳諧狂哥御摺物 萬板木師
御銀札
御印判
金銀銅石印
大改心齋揃筋南本町
松井忠藏